

当日のプログラム

- セミナー1 地元の大学に進学する魅力について**
スピーカー：八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 准教授 広博委員長 山本 雄大さん
 - セミナー2 大学入試の基礎知識と、親子それぞれの向き合い方**
スピーカー：東進衛星予備校 八戸中央校 黒沢 宏之さん
 - セミナー3 首都圏へ進学するメリットや学部選びのポイント**
スピーカー：中央大学 入学センター事務局入試課副課長 上村 敬央さん（八戸市出身）
- 若者の県内定着・Uターンに向けた青森県の取組
スピーカー：青森県企画政策部地域活力振興課
- 参加者とスピーカーとのトークセッション



将来の姿を考え 賢く情報収集を

八戸学院大と八戸工業大、新教育センター・東進衛星予備校八戸中央校、デーリー東北新聞社は8月20日、八戸プラザアーバンホールで、親子向けセミナー「親子でシェアする大学進学」の「今」を初めて開催しました。

約20人の参加者は、講演やトークセッションを通して、年々複雑化する選抜方法や奨学金制度などに理解を深め、親子それぞれの立場で大学進学に向けた心構えを学びました。当日の内容を詳報します。

進学お役立ちセミナー

親子でシェアする 大学進学の「今」

地域を支える人材育成



八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 准教授 広報委員長 山本 雄大さん

なぜ大学に進学するのか、理由が漠然としていた高校生は多い。さまざまな意見があると思いが、突き詰めると理由は二つだと考えられます。

まずは「教養を深める」。人間がより良く生きていくためには、正しく理解し、選択しなければいけません。そのための基礎となるのが教養です。

もう一つは「専門的知識を深めて職業選択の幅を広げる」。日本は資格社会です。大学で学ぶことで取得できる資格は多いですし、企業によつては大卒と高卒の待遇が違います。

将来の夢をかなえられる学部・学科を選ぶのが理想ですが、なかなかうまくいかないのが

大学受験の現実です。学力の問題は自身の頑張りで解決できますが、家庭の経済的事情で進学に前向きになれない場合や、大学独自の学費減免制度などを調べ、賢く利用していただき。

私立の学費は高額というイメージがあるかと思いますが、その手のデイスカウトすることは可能です。その一つが、多くの私立で用いられている、検定試験の保有個数に応じて学費を減免する制度です。

八戸学院大学の「資格特待」の場合、日商簿記2級と漢検2級保持者は授業料が全額免除になります。英検2級と漢検準2級保有者は、授業料と教育費が半額、4年間継続されるので、国立並みの学費で卒業できる

ます。高校の授業をしっかり受けていれば取れる資格が、学費の減免につながるのです。

本学での学びの特徴は、学生と地域が触れ合うフィールドワークを重視していること。学生は地域が抱える課題に4年間向き合い、解決策を探ります。

その体験は就職活動に生かされます。面接時、自分の経験に基づいた意見を話すことができるので、企業や自治体から高い評価を受けているのです。その結果、地域を支える公務員、企業の職員などとして、多くの卒業生が活躍しています。

「生まれ育った故郷を守りたい」という思いがある高校生の皆さん、ぜひ本学を進学先候補に挙げていただければと思います。

何を学びたいかを重視



東進衛星予備校八戸中央校 黒沢 宏之さん

大学での学びは、大きく分けて人文科学系、社会科学系、自然科学系の3分野です。理系は卒業後の職業につながりやすく、文系はさまざまな知識を身に付けて将来の可能性を広げられます。学部・学科を選ぶ際は、何をやるのか、どんな教員がいるのかなどをよく調べてください。国立大と私立大の違いを入試形態別にみてみましょう。一般選抜に関しては、国立は共通テストと個別二次試験という方法に限られます。近年は後期試験をやめる大学が増え、前期一発勝負の色合いが強くなってきました。

私立は個別や全学部統一試験など多様で、共通テストのみの大学もあります。最近では英検や

TOEFLなどを利用する大学も増え、外部試験を受ける価値が高まっています。

次に学校推薦型選抜についてです。国立は基本的に全国公募で、学業成績に加え共通テストの点数も見られるケースがあります。私立は公募制推薦のほか、指定校推薦があります。指定校は毎年更新されますので、興味のある場合は積極的に情報を入手しましょう。

こうして見ると、私立は入試のチャンスが多いです。学費が高額なイメージがありますが、理系の授業料で比べると、国立と国立の差は年間約60万円。アルバイトや奨学金を活用すれば差を埋めることは可能ですので、行きたい大学で学びたいことを学んでほしいです。

学費を賄う奨学金についても気になると思います。奨学金には返済不要の給付型と、返済が必要な貸付型があり、日本学生支援機構や地方公共団体の奨学金の他にも、民間団体や大学独自の奨学金も増えています。大学生の2人に1人が奨学金を利用しているとの調査もあり、決して特別なことではありません。

入試制度やお金の話は難しいと感じるかもしれませんが、子ども任せにせず、保護者も一緒に学ぶ姿勢が大切です。高校卒業という人生の岐路に、最大限のサポートをしてあげてください。

大学入試は情報と時間が重要な情報サイトや動画チャンネルもあるので、最新情報を取捨選択しながら有効活用しましょう。

刺激を受けながら成長



中央大学 入学センター事務局入試課副課長 上村 敬央さん

中央大は歴史ある総合大学として、あらゆる分野の学びを網羅しています。本学に限らず首都圏の総合大学には、日本全国はもとより海外からも学生が集まっています。多様な価値観に触れ、刺激を受けながら成長することができます。それが首都圏に進学するメリットの一つです。

本学は8学部を有しています。学部選びに迷ったとき、ヒントとして挙げられるのは、まず就職実績。もし公務員を目指すのであれば、法学部、経済学部が強いです。特徴的な学部で選ぶ場合、例えば商学部では、サツカービジネスについて体系的に学ぶプログラムや、営業職の知識やス

キルを身に付けられる「営業学入門」などがあります。青森県内高校出身者の直近5年間の主な就職先は、文科省、警視庁、JR東日本、パナソニックなど、公務員や大企業が多いです。青森県庁、青森県警本部、青森市役所、東北電力などにUターンした卒業生もいます。

また、本学は難関国家試験や資格試験に対するサポート体制も充実しています。法曹を目指す学生のための「法曹講席」、公認会計士試験に向け「公認会計士試験に臨む」(経理研究所)もあり、資格予備校よりもリーズナブルな学費で学ぶことができます。

入試制度は多様で、チャレンジできる機会が多いです。文系学部は、1回の試験で複数の

学部の合格判定が受けられる「6学部共通選抜」があります。ほかにも、一般方式、英語外部試験利用方式、大学入学共通テスト併用方式のほか、同テストの得点のみで合格判定もでき、自分に合った入試方式を選択することができます。

東北では仙台で受験が可能ですが、併願のパターンが多ければ多いほど合格率が上がるといデータがありますので、ぜひチャレンジしてください。

また、本学独自の奨学金もあります。中央大学予約奨学金は、地方出身の受験生向けに用意している給付奨学金で、授業料相当額の半額を4年間給付します。10月募集開始なので、ぜひ早めにチェックしてください。

親子で考え、役割分担を



トークセッション

司会 ● 上手に情報収集する方法は、山本 ● 全国に数多くある大学から1校を選ぶのは困難。希望する学部を早く決め、5校、10校と比べることでメリット、デメリットが見えてきます。

黒沢 ● 大学や学部が絞れない場合は、なるべく大きな大学一つを選び、興味を持って学部が見つかったら他の大学と比べてみましょう。

上村 ● やりたことが分からず、早めに大学相談会へ足を運び、直接質問するのがベスト。メールや電話での質問も歓迎です。

参加者 ● 高校2年ですが、進路に悩んでいます。山本 ● リベラルアーツを取り入れている大学なら、幅広い領域の学問を学べます。

黒沢 ● 難関大が多いですが、入学後に学部を決められる大学もあります。

上村 ● やりたことに近いことが充実した学生生活になるので、試験内容や試験難易度だけで選ばないでください。

司会 ● 進学を目指す親子にアドバイス。黒沢 ● 親は子どもの考えに反対の場合でも否定せず、いったん受け止めてください。「一緒に考えよう」という姿勢が大切です。

上村 ● やり相談会です。学びたいことが分からず、高い高校生も話しているうちに自分の興味に気付くことができます。

山本 ● 大学進学は役割分担が重要。子どもは勉強を頑張る、親は経済的なバックアップに専念すると、衝突せず穏やかに進むのではないのでしょうか。